

入学試験概要

【併願可】〈オンライン方式〉社会人&シニア入学試験(1期・2期)

この入学試験は、大学で学びたい、あるいは学び直したいと考える社会人やシニアの方を対象に各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、オンラインにて、課題や作品の審査および面接を行い、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、社会人&シニア入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

2026年4月1日現在、満23歳以上の者で社会人として3年以上の経験を有しているもので、下記の1～3のいずれかを満たし、かつ下記4の資格を満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。
4. 外国人留学生に該当しない者

※ここで言う「外国人留学生」とは(留学)の在留資格により、日本国内の教育施設・教育機関で教育を受ける外国人学生を指します。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書(様式1-1)
⑥実技曲目記入用紙 ⑦事前提出課題
※⑥～⑦は各コースの選抜方法を確認の上、提出すること

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域
(1期・2期)

類	コース	選抜方法①		選抜方法② ^{※1}		選抜方法③
I類	声楽コース	志望理由書 (100点)	+	オンライン上での専攻実技 ^{※2} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点)
	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)					
	弦管打コース			事前課題型小論文(200点)		
上記以外のコース (プロフェッショナルアーティストコースを除く)						

※1 詳細内容については、「[選抜方法詳細1\(音楽領域\)](#)」をご覧ください。

※2 事前に動画送付可。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	舞台芸術に関する企画書 (事前提出)(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点) ※当日、事前提出の企画書に関して質疑応答 をします。

●舞台芸術に関する企画書(事前提出)

次の課題内容について、市販の400字づめ原稿用紙にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期〉

訪日外国人観光客が年々増加する中、日本の演劇(伝統芸能および現代演劇)を観光資源として活用する試みが注目されている。例えば2024年9月に開催された「東京芸術祭2024」では、国外から来訪する方や英語・韓国語・中国語などを母語とする国内の方に向けた日本の舞台芸術の魅力発信ツアーを実施したという事例がある。しかしながら、言語や文化的障壁、公演環境の整備不足など、まだ多くの課題が存在するのも確かである。

このような背景に鑑み、あなただったら訪日外国人観光客に向けての演劇体験の提供をどのように企画しますか。自身のアイディアをフォーマット①～⑧に基づき作成しなさい。

※参考にした文献資料・新聞記事・サイトがある場合は、出典を最後に記載してください。

【舞台芸術企画書フォーマット】

- ①企画タイトル(10～20字程度)
- ②企画の目的・背景(200～300字程度)
- ③コンセプト(100～200字程度)
- ④公演の概要(400～600字程度)
- ⑤実施場所・対象・時期(200～300字程度)
- ⑥独自性・意義(200～300字程度)
- ⑦実施に向けた課題と対応(150～300字程度)
- ⑧まとめ(100～150字程度)

〈2期〉

2025年には、いわゆる「団塊の世代」が全員75歳以上となり、日本の人口のおよそ5人に1人が後期高齢者となる。それに伴い、高齢者が遠方へ足を運ぶことが難しくなり、舞台芸術などの鑑賞体験を得る機会が減少していくことが予想される。こうした状況の中で、高齢者とともに地域を活性化させるためには、地域の文化施設を活用した取り組みが重要になっている。

このような背景に鑑み、あなただったら高齢者とともに地域を活性化させることをテーマとした舞台芸術を創出する場合、どのような企画を立案しますか。地域活性化に対して問題提起ができるようなアイディアをフォーマット①～⑧に基づき作成しなさい。

※参考にした文献資料・新聞記事・サイトがある場合は出典を最後に記載してください。

【舞台芸術企画書フォーマット】

- ①企画タイトル(10～20字程度)
- ②企画の目的・背景(200～300字程度)
- ③コンセプト(100～200字程度)
- ④公演の概要(400～600字程度)
- ⑤実施場所・対象・時期(200～300字程度)
- ⑥独自性・意義(200～300字程度)
- ⑦実施に向けた課題と対応(150～300字程度)
- ⑧まとめ(100～150字程度)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	オンラインによる自己作品のプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5・6} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点)

※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上準備すること。

※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上準備すること。

※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。

※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。

※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。また、当日プレゼンテーションに使用する作品については出願時にPDFデータまたは画像データで事前提出すること。

※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	オンラインによる自己作品のプレゼンテーション ^{※1・2・3・4} (約10分・200点)	+	オンライン個人面接 (約10分・200点)

- ※1 「ファンデーション」および「先端メディア表現コース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。
また、当日プレゼンテーションに使用する作品については出願時にPDFデータまたは画像データで事前提出すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。
- ※4 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	事前課題型小論文(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

音楽やデザイン等を含む芸術に関する社会課題についてインターネットなどで調査し、本領域のアドミッションポリシーもふまえ、次の設問に回答してください。

- 1) あなたが最も興味を持った社会課題について、それがどのような課題であるか、あなた自身の言葉で説明してください(150字程度)。
- 2) 1) の社会課題について、あなたが興味を抱いた理由を説明してください(250字程度)。
- 3) 1) の社会課題について、あなたの社会人としての経験もしくは日本国外における経験をふまえ、どのように解決を目指すべきか、第三者にも伝わるよう説明してください(400字程度)。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	事前課題型小論文(200点)	+	オンライン個人面接(約10分・200点)

●事前課題型小論文

次の課題内容において、市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

〈1期・2期共通〉

子どもは、家庭や保育所、幼稚園、小学校など、さまざまな環境に身を置きながら、仲間や友達と共に、学習や遊び、日々の生活を通して育ちます。家庭や保育所、幼稚園、小学校、それ以外の立場から子どもの保育・教育に関わる大人のいずれも、子どもの育ちを支え、成長や発達を促していくという点は変わりありません。そして、教員や保育者は、集団や仲間・友達関係における関わりあう力を育てつつ、子ども一人一人の望ましい育ちを促します。

そこで、子どもに関わる大人の一人として、子ども同士の友達関係における関わりあいを豊かにするには、どのように子どもと接すればよいと考えますか。教員・保育者・ボランティアスタッフとしてなど、自分の立場を想定し、明確に示したうえで、自身の経験や知識などを踏まえ、考えを述べなさい。